

CD

Source: All Sources : Area of Law - By Topic : Patent Law : Patents : Non-U.S. Patents : Patent Abstracts of Japan  
Terms: 1214485 ([Edit Search](#))

JP-A 1214485; JP-A 63039107; JP-A 88039107

COPYRIGHT: (C)1989,JPO & Japio

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

**01214485**

◆ GET EXEMPLARY DRAWING

August 28, 1989

**PSEUDO-ADHESIVE BODY FOR FOLDED COMMUNICATION SHEET AND FOLDED COMMUNICATION SHEET USING THE SAME**

**INVENTOR:** KIMURA YOSHIKAZU

**APPL-NO:** 63039107 (JP 88039107)

**FILED:** February 22, 1988

**ASSIGNEE:** K D K KK

**INT-CL:** B42D15/02, (Section B, Class 42, Sub-class D, Group 15, Sub-group 02)

**ABST:**

**PURPOSE:** To produce a folded communication sheet easy to contain or file and having excellent properties for postal handling and preservation of confidential information, by fixing or connecting at least one end edge of a pair of transparent films the inner surfaces of which are imperfectly adhered to each other, and rendering the end edge part a nonreleasable end.

**CONSTITUTION:** A pseudo-adhesive body 5 comprises a pseudo-adhesive layer 9 for releasably adhering the inner surfaces of a pair of transparent films 7, 8, a fully adhesive part 11 provided at a non-releasable end 10 through which the films 7, 8 are fixed or connected to each other at one end edge, and fully adhesive layers 12 provided on the outer surfaces on the films 7, 8. Required items of communication are printed on the inner and outer surfaces of a continuous pair of paper pieces 1, 2, then the paper pieces 1, 2 are folded at a fold line part 6 onto each other, with the pseudo-adhesive body 5 sandwiched therebetween, to constitute a foled communication sheet. When the non releasable end of the pseudo-adhesive body 5 is cut off at a part indicated by a dash-dot line, the communication sheet can be spread by releasing the pseudo-adhesive layers from each other, starting from the cut end edge.

**LOAD-DATE:** June 17, 1999

Source: All Sources : Area of Law - By Topic : Patent Law : Patents : Non-U.S. Patents : Patent Abstracts of Japan 

Terms: 1214485 ([Edit Search](#))

View: Full

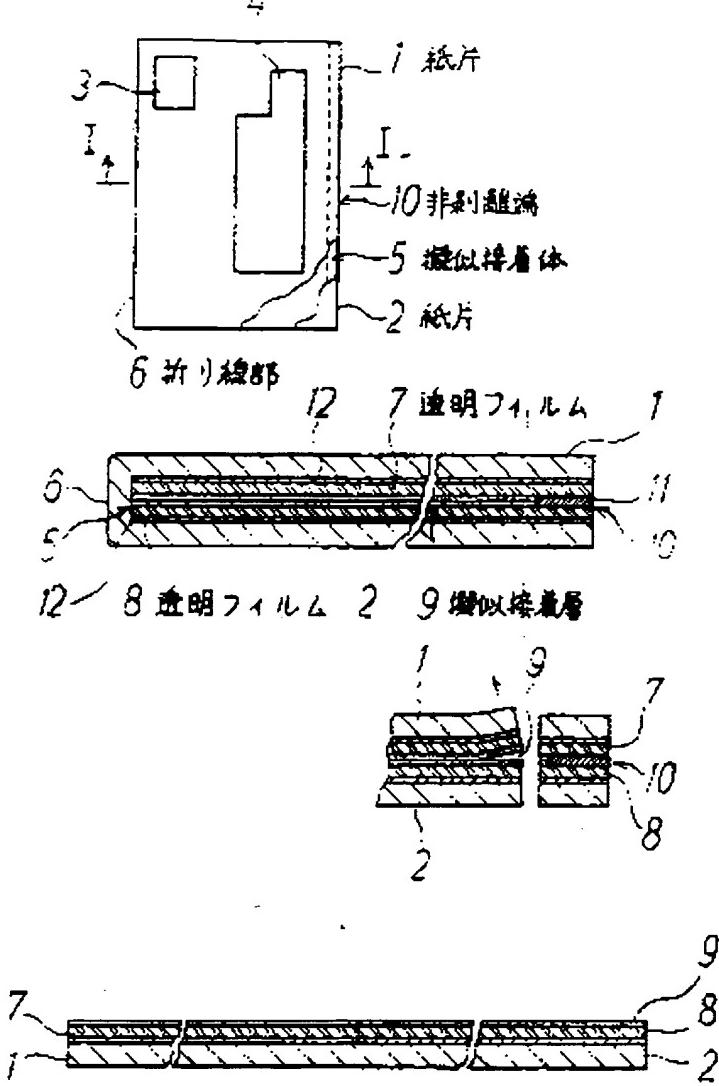
Date/Time: Wednesday, June 13, 2001 - 12:15 PM EDT

[About LEXIS-NEXIS](#) | [Terms and Conditions](#)

Copyright © 2001 LEXIS-NEXIS Group. All rights reserved.

Tips

## BEST AVAILABLE COPY



## PSEUDO-ADHESIVE BODY FOR FOLDED COMMUNICATION SHEET AND FOLDED COMMUNICATION SHEET USING THE SAME

Patent Number: JP1214485  
Publication date: 1989-08-28  
Inventor(s): KIMURA YOSHIKAZU  
Applicant(s): K D K KK  
Requested Patent:  JP1214485  
Application: JP19880039107 19880222  
Priority Number(s):  
IPC Classification: B42D15/02  
EC Classification:  
Equivalents:

### Abstract

**PURPOSE:** To produce a folded communication sheet easy to contain or file and having excellent properties for postal handling and preservation of confidential information, by fixing or connecting at least one end edge of a pair of transparent films the inner surfaces of which are imperfectly adhered to each other, and rendering the end edge part a nonreleasable end.

**CONSTITUTION:** A pseudo-adhesive body 5 comprises a pseudo-adhesive layer 9 for releasably adhering the inner surfaces of a pair of transparent films 7, 8, a fully adhesive part 11 provided at a non-releasable end 10 through which the films 7, 8 are fixed or connected to each other at one end edge, and fully adhesive layers 12 provided on the outer surfaces on the films 7, 8. Required items of communication are printed on the inner and outer surfaces of a continuous pair of paper pieces 1, 2, then the paper pieces 1, 2 are folded at a fold line part 6 onto each other, with the pseudo-adhesive body 5 sandwiched therebetween, to constitute a foled communication sheet. When the non releasable end of the pseudo-adhesive body 5 is cut off at a part indicated by a dash-dot line, the communication sheet can be spread by releasing the pseudo-adhesive layers from each other, starting from the cut end edge.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

## ⑫ 公開特許公報 (A) 平1-214485

⑩ Int. Cl.

B 42 D 15/02

識別記号

301

府内整理番号

A-8302-2C  
E-8302-2C

⑭ 公開 平成1年(1989)8月28日

審査請求 未請求 請求項の数 6 (全7頁)

⑮ 発明の名称 重ね通信シート用擬似接着体及びそれを用いた重ね通信シート

⑯ 特願 昭63-39107

⑰ 出願 昭63(1988)2月22日

⑱ 発明者 木村 義和 京都府京都市南区唐橋高田町36番地

⑲ 出願人 ケイディケイ株式会社 京都府京都市南区西九条東比永城町104番地-2

⑳ 代理人 弁理士 安藤 悅逸

## 明細書

## 1. 発明の名称

重ね通信シート用擬似接着体及びそれを用いた重ね通信シート

## 2. 特許請求の範囲

(1) 一対の透明フィルムの両内面を剥離可能に且つ剥離後は接着性を示さないように擬似接着し、擬似接着された両透明フィルムの少なくとも一端縁を固着又は連結すると共にその固着又は連結部を剥離不能な非剥離端としてなる重ね通信シート用擬似接着体。

(2) 一対の透明フィルムの両内面を剥離可能に且つ剥離後は接着性を示さないように擬似接着し、擬似接着された両透明フィルムを二つに折り重ねて重なり面を剥離不能に完全接着すると共にその折り線部を剥離不能な非剥離端としてなる重ね通信シート用擬似接着体。

(3) 最外側にある両透明フィルムの外面に剥離

不能な完全接着層を設けてなる、請求項1又は2記載の重ね通信シート用擬似接着体。

(4) 連続した一対の紙片を二つに折り重ねると共にその間に請求項1、2又は3記載の重ね通信シート用擬似接着体をその非剥離端が両紙片の折り線部と対向する端縁に配置されるように挟み、各紙片の内面及びそれと対向する各透明フィルムの外面を剥離不能に完全接着してなる重ね通信シート。

(5) 重ね通信シート用擬似接着体の非剥離端が、両紙片の折り線部と隣接する端縁にも配置される、請求項4記載の重ね通信シート。

(6) 請求項4記載の重ね通信シートにおいて、重ね通信シート用擬似接着体の非剥離端が、両紙片の折り線部と対向する端縁に配置される代りに両紙片の折り線部を挟む端縁に配置される重ね通信シート。

## 3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は、重ね通信シート用擬似接着体及びそれを用いた重ね通信シートに関し、その重ね通信シートは通常はがき、定形又は定形外郵便物等として使用することができる。

## (従来の技術)

実開昭49-33930号公報に、葉書の形態を有する一对の紙片を接着剤で脱着可能に接着してなる合せ葉書が開示されている。この合せ葉書は、各紙片の内面にも通信等の情報を表示して郵便に付すことが可能である。

しかし、上記の合せ葉書では、両紙片が互いに別葉であるために、差出人側で一定の情報、例えば通信文、図、グラフ、写真等からなる情報を両紙片の内面に連続的、一覧的に表示することが困難であり、また仮に両紙片の内面に連続表示をしたとしても、両紙片は受取人側における剥離展開時に完全に分離されてしまうので情報の一覧性を失うと共に収納やファイリングにも不便であり、両紙片の内面を連続的、一覧的に有効利用することができなかった。

3

また、本発明の別の目的は、上記以外の形態の重ね通信シート、例えば分離した一对の紙片を重ねてなる重ね通信シートにも利用できる重ね通信シート用擬似接着体を提供することにある。

## (課題を解決するための技術手段)

本発明に係る重ね通信シート用擬似接着体は、一对の透明フィルムの両内面を剥離可能に且つ剥離後は接着性を示さないように擬似接着し、擬似接着された両透明フィルムの少なくとも一端縁を固着又は連結すると共にその固着又は連結部を剥離不能な非剥離端としてなるものである。非剥離端は、適用すべき重ね通信シートの形態、機密保持性、剥離展開の開始位置や態様等に応じて、擬似接着体の周囲端縁の所要位置に1又は2以上、或は全周にわたって設けられる。両透明フィルムの上記固着又は連結は、接着剤による隔離不能な完全接着、加熱等による融着、材料の折り重ね等の手段を包含する。

また、上記擬似接着体の非剥離端の形成態様を変更した重ね通信シート用擬似接着体は、一对の

紙片が受取人側における両紙片の剥離展開後も内面に接着性、粘着性を有するために、受取人側に不快感を与えると共に受取人側における収納やファイリングが困難であった。

さらに、上記の合せ葉書では、投函から配達に至るまでの郵便処理工程において合せ端部から自然に剥離することがあり、また剥離後も最接着によって元の状態にすることができる所以、郵便処理上、機密保持上において問題があった。

## (発明が解決しようとする課題)

従って、本発明の目的は、差出人側において一定の情報を両紙片に連続的、一覧的に容易に表示することができ、また受取人側において両紙片の剥離展開後も両紙片が分離することなしに情報の一覧性が保持されると共に不快な粘着感がなく、収納やファイリングに至便であり、郵便処理、機密保持に優れた重ね通信シートを製造するための重ね通信シート用擬似接着体及びそれを用いた重ね通信シートを提供することを目的としている。

4

透明フィルムの両内面を剥離可能に且つ剥離後は接着性を示さないように擬似接着し、擬似接着された両透明フィルムを二つに折り重ねて重なり面を剥離不能に完全接着すると共にその折り線部を剥離不能な非剥離端としてなるものである。なお、この擬似接着体には、必要に応じて、前記態様の非剥離端が所要個所に付加されてもよい。

上記2例の重ね通信シート用擬似接着体は、その最外側にある両透明フィルムの外面に剥離不能な完全接着層を予め設けることができる。

また、本発明に係る重ね通信シートは、連続した一对の紙片を二つに折り重ねると共にその間に前記の擬似接着体をその非剥離端が両紙片の折り線部と対向する端縁又はその端縁と両紙片の折り線部と隣接する端縁、或は両紙片の折り線部を挟む端縁に配置されるように挟み、各紙片の内面及びそれと対向する各透明フィルムの外面を剥離不能に完全接着してなるものである。

## (作用)

擬似接着は、既述のように、接着後における両

透明フィルムの内面の剥離が可能であり、且つ剥離後は各内面に接着性を示さない接着態様を意味し、本発明に係る擬似接着体として、例えば、実開昭62-9280号公報に記載の擬似接着態様を利用することができる。擬似接着体の両透明フィルムは境界の擬似接着部分において剥離することができるが、非剥離端からは、その部分を除去しない限り剥離することができない。最外側にある両透明フィルムの外面に完全接着層を予め設けたものでは、両紙片の上記折り重ねに際して完全接着層を新たに設ける必要がないので都合がよい。

完全接着は、接着後における剥離が困難又は不可能な接着態様を意味し、そのような完全接着層として、感圧接着性のものや感熱接着性のもの等を適宜選択することができる。感圧接着性の完全接着層は、その表面に保護シートを剥離可能に被覆しておけばよい。なお、感熱接着性の完全接着層が上記透明フィルムの一方を形成し、その一面において紙片と感熱的に完全接着されると共に他

上記のように折り重ねられた両紙片の外面に、受取人や差出人の住所、氏名（名称）、さらには通信文等が常法のように記載され、重ね通信シートとして投函される。重ね通信シートは、必要に応じて、その寸法や重量等の条件を定められた規格に合致させることにより、通常はがきや定形又は定形外郵便物とすることができる。

配達された上記重ね通信シートは、擬似接着体の非剥離端をそれと対向する両紙片と共に切り落すことにより剥離可能とされる。各透明フィルムの外面と各紙片の内面は完全接着されているので、両紙片を適当な端縁から剥離させると同時に、擬似接着されている両透明フィルムを容易に剥離させることができる。

剥離展開された両紙片の内面には、擬似接着体からの透明フィルムが残存するが、透明フィルムの露出した内面は接着性がなく、従って指触による粘着感がなく、両透明フィルムの内面の再接着も不可能である。また、両紙片の内面に表示された情報は、残存透明フィルムを通して問題なく読

面において他方の透明フィルムと擬似接着されるものでもよい。

擬似接着体の各構成部材は、紙片に対して段階的に形成されてもよく、また一部の構成部材は紙片の裁断前に形成されてもよい。

連続した両紙片は、差出入側において、その内面に通信文、写真等を記載し或は印刷した後、擬似接着体を挟んで折り線部から折り重ねられ、両者は完全接着される。その場合、擬似接着体の非剥離端が両紙片の折り線部と対向する端縁又はその端縁と両紙片の折り線部と隣接する端縁、或は両紙片の折り線部を挟む端縁に配置され、両透明フィルムの内面は擬似接着され、また各紙片の内面及びそれと対向する各透明フィルムの外面は完全接着されているので、両紙片の自然剥離が防止されると共に両紙片の内面の機密も保持される。なお、上記の通信文や後記の宛名等の記載事項はコンピュータ出力装置によって連続的に印字されてもよく、そのための紙片は、コンピュータ出力用紙としての公知の形態を具备していてもよい。

み取ることができる。なお、上記の残存透明フィルムは、剥離展開後における両紙片の内面を美的に向上させると共に外部の摩擦、汚染、水分等から保護する作用を有する。

#### (実施例 1)

第1図及び第2図は本発明の実施例の各々平面図及びそのI-I線拡大断面図であり、その断面図は特に厚さ方向に誇張されている。同図において、連続した一対の紙片（1）。（2）の内面には通信文や写真等（図示を省略する）が連続的、一覧的に印刷され、また一方の紙片（1）の外面には郵便切手（3）が貼着されると共に受取人の住所及び氏名（名称）（4）、その他の必要事項（図示を省略する）が記載され、他方の紙片（2）の外面には通信文や差出人の住所、氏名等（図示を省略する）が必要に応じて印刷又は記載されている。

両紙片（1）。（2）は、擬似接着体（5）を挟んで折り線部（6）から二つに折り重ねられ、重ね通信シートに構成されると共に通常はがき、

定形又は定形外郵便物等として投函される。なお、両紙片(1)、(2)の折り線部(6)が天地側の一方に配置されてもよい。擬似接着体(5)は、一对の透明フィルム(7)、(8)、両透明フィルム(7)、(8)の内面を剥離可能に接着する擬似接着層(9)(2層で示す)、両透明フィルム(7)、(8)の一端縁を固着又は連結して非剥離端(10)とする完全接着部(11)、及び両透明フィルム(7)、(8)の外面に設けられた完全接着層(12)から構成され、非剥離端(10)が両紙片(1)、(2)の折り線部(6)と対向する端縁に配置され、各紙片(1)、(2)の内面及びそれと対向する各透明フィルム(7)、(8)の外面は完全接着層(12)を介して完全接着されている。

配達された上記重ね通信シートは、一点鎖線で示す個所で擬似接着体(5)の非剥離端(10)がそれと対向する両紙片(1)、(2)の端縁と共に切り落される。

第3図及び第4図は第2図における両紙片の

11

両紙片(1)、(2)の剥離展開に際しては、一点鎖線において擬似接着体(5)の非剥離端(10)がそれと対向する両紙片(1)、(2)の端縁と共に切り落される。

(実施例3)

第6図は本発明の別の実施例の拡大断面図であり、同図において、この擬似接着体(5)は、第2図に示す擬似接着体(5)における擬似接着された両透明フィルム(7)、(8)を二つに折り重ねて重なり面を完全接着層(14)を介して剥離不能に完全接着すると共にその折り曲げ部(15)を剥離不能な非剥離端(10)としてなるものである。

実施例1と同様に、非剥離端(10)が両紙片(1)、(2)の折り線部(6)と対向する端縁に配置され、各紙片(1)、(2)の内面及びそれと対向する各透明フィルム(7)、(8)の外面は完全接着層(12)を介して完全接着されている。

両紙片(1)、(2)の剥離展開に際しては、

各々剥離展開時及び剥離展開後の状態を示す拡大断面図であり、同図において、非剥離端(10)及びそれと対向する両紙片(1)、(2)の端縁が切り落された上記重ね通信シートは、第3図に示すように、擬似接着層(9)の切断端縁において両透明フィルム(7)、(8)の剥離が開始され、第4図に示すように剥離展開される。

(実施例2)

第5図は本発明の別の実施例の拡大断面図であり、同図において、この擬似接着体(5)は、擬似接着された両透明フィルム(7)、(8)の一端縁を触着又は折り曲げにより一体的に固着又は連結すると共にその固着又は連結部(13)を非剥離端(10)としたものである。

実施例1と同様に、非剥離端(10)が両紙片(1)、(2)の折り線部(6)と対向する端縁に配置され、各紙片(1)、(2)の内面及びそれと対向する各透明フィルム(7)、(8)の外面は完全接着層(12)を介して完全接着されている。

12

一点鎖線において擬似接着体(5)の非剥離端(10)がそれと対向する両紙片(1)、(2)の端縁と共に切り落され、上方又は下方の擬似接着層(9)の切断端縁において両透明フィルム(7)、(8)の剥離が開始される。

(実施例4)

第7図は本発明の別の実施例の拡大断面図であり、同図において、この擬似接着体(5)は、第6図に示す両透明フィルム(7)、(8)の折り重ねを中間に留め、重なり面を完全接着層(14)を介して剥離不能に完全接着すると共にその折り曲げ部(15)を剥離不能な非剥離端(10)としてなるものである。

実施例1と同様に、非剥離端(10)が両紙片(1)、(2)の折り線部(6)と対向する端縁に配置され、各紙片(1)、(2)の内面及びそれと対向する各透明フィルム(7)、(8)の外面は完全接着層(12)を介して完全接着されている。なお、図面上、両透明フィルム(7)、(8)の折り重ね端部に段差が生じるが、擬似接

着体(5)自体が極めて薄いものであり、重ね通信シートの形成に何ら問題はない。

両紙片(1), (2)の剥離展間に際しては、一点鎖線において擬似接着体(5)の非剥離端(10)がそれと対向する両紙片(1), (2)の端縁と共に切り落され、下方の擬似接着層(9)の切断端縁において両透明フィルム(7), (8)の剥離が開始される。なお、二点鎖線において擬似接着体(5)の非剥離端(10)がそれと対向する両紙片(1), (2)の端縁と共に切り落されてもよく、その場合は実施例2と同様の態様で剥離される。

## (実施例5)

第8図は本発明の別の実施例の平面図であり、同図において、擬似接着体(5)の非剥離端(10)が両紙片(1), (2)の折り線部(6)と対向する端縁及び両紙片(1), (2)の折り線部(6)と隣接する端縁にも配置されたものである。

## (実施例6)

15

の端縁にも設けたものであり、それを、分離した一対の紙片(1), (2)の間に挟み、実施例1と同様の態様で重ね通信シートに形成されている。この場合も、両紙片(1), (2)の自然剥離が防止されると共に両紙片(1), (2)の内面の機密も保持される。

両紙片(1), (2)の剥離展間に際しては、一点鎖線において擬似接着体(5)の一方の非剥離端(10)がそれと対向する両紙片(1), (2)の端縁と共に切り落され、端縁における下方の擬似接着層(9)において両透明フィルム(7), (8)の剥離が開始される。剥離展間は残存する他方の非剥離端(10)に至るまで行なわれ、従って両紙片(1), (2)は剥離展開後も分離されない。なお、両方の非剥離端(10)がそれらと対向する両紙片(1), (2)の端縁と共に切り落される態様を採用すれば、両紙片(1), (2)は剥離展開と共に分離されることになる。

## (発明の効果)

第9図は本発明の別の実施例の平面図であり、同図において、擬似接着体(5)の非剥離端(10)が両紙片(1), (2)の折り線部(6)を挟む端縁に配置されたものである。

## (実施例7)

第10図は本発明の別の実施例の平面図であり、同図において、擬似接着体(5)の非剥離端(10)が両紙片(1), (2)の折り線部(6)と対向する端縁及び両紙片(1), (2)の折り線部(6)を挟む端縁に配置されたものである。

## (実施例8)

第11図及び第12図は本発明の別の実施例の各々平面図及びそのII-II線拡大断面図であり、同図において、この擬似接着体(5)は、第2図に示す擬似接着体(5)における完全接着部(11)からなる非剥離端(10)と第5図に示す擬似接着体(5)における固着又は連結部(13)からなる非剥離端(10)を、第9図に示す非剥離端(10)の配置態様と同様に、対向する両方

16

以上のように、請求項1及び2記載の重ね通信シート用擬似接着体は、非剥離端を有するので、連続又は分離した一対の紙片の間に挟むに際して非剥離端の数及び配置等を考慮することにより、郵便処理工程における両紙片の自然剥離の防止や機密保持が可能な重ね通信シートを製造することができる。特に請求項3記載の重ね通信シート用擬似接着体は、紙片の内面との完全接着に際して、予め完全接着層を備えているので至便である。

請求項4、5及び6記載の重ね通信シートは、上記重ね通信シート用擬似接着体を連続した一対の紙片の間に挟むに際して非剥離端の数及び配置等が効果的に選択されているので、両紙片の自然剥離が防止されると共に両紙片の内面の機密も保持される。また、これらの重ね通信シートは、連続した一対の両紙片が擬似接着体を介して剥離展開可能に二つに折り重ねられているので、一定の情報、例えば通信文、図、グラフ、写真等からなる情報を両紙片に連続的、一覧的に容易に表示す

ることができ、また両紙片の剥離展開後において両紙片が分離することなく、両透明フィルムの外面は接着性を有さず、情報の一覧性が保持されると共に不快な粘着感がなく、収納やファイリングに至便である。

14…完全接着層， 15…折り曲げ部

以上

## 4. 図面の簡単な説明

第1図及び第2図は本発明の実施例の各々平面図及びそのI-I線拡大断面図、第3図及び第4図は第2図における両紙片の各々剥離展開時及び剥離展開後の状態を示す拡大断面図、第5~7図は本発明の別の実施例の拡大断面図、第8~10図は本発明の別の実施例の平面図、また第11図及び第12図は本発明の別の実施例の各々平面図及びそのII-II線拡大断面図である。

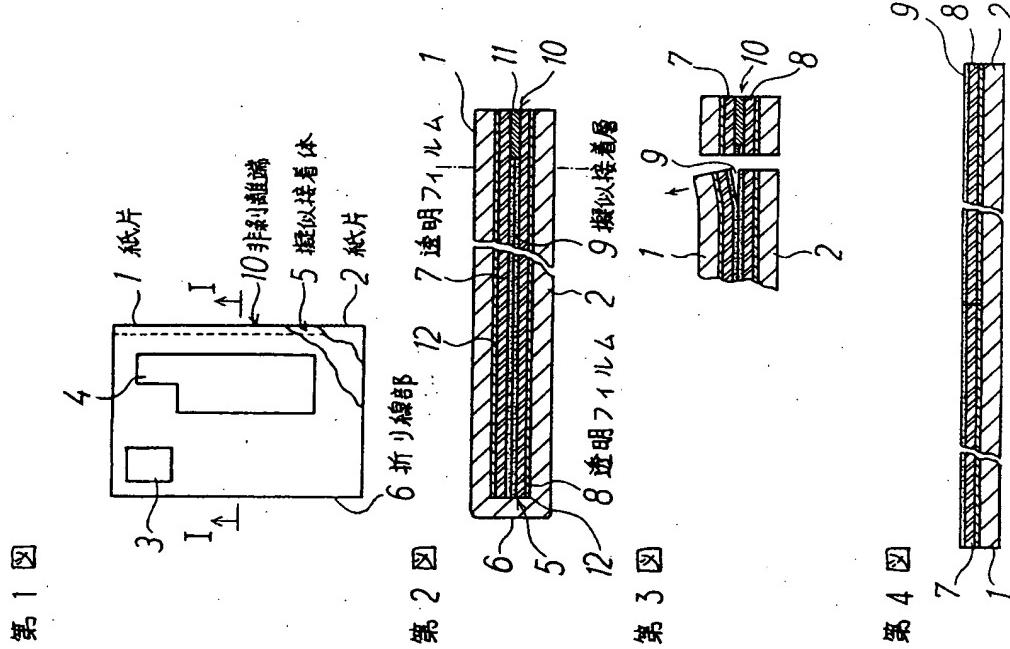
特許出願人 木村義和  
代理人 弁理士 安藤博逸

## &lt;主要符号の説明&gt;

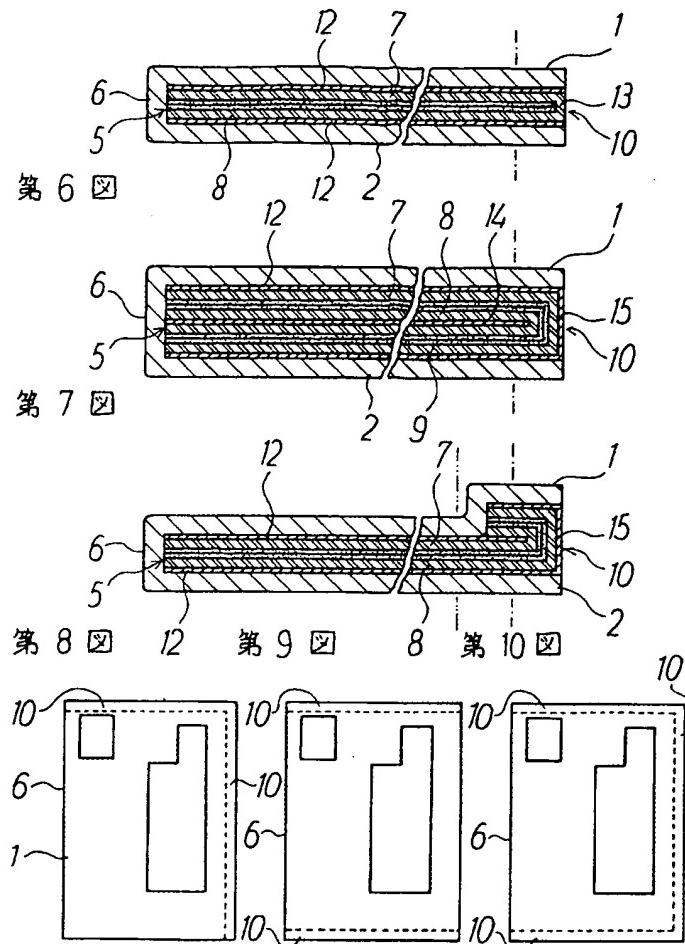
1, 2…紙片， 5…擬似接着体， 6…折り線部， 7, 8…透明フィルム， 9…擬似接着層， 10…非剥離端， 11…完全接着部， 12…完全接着層， 13…固着又は連結部，

19

20



第 5 図



第 11 図

